

2018 サッカーワールドカップ ロシア大会 アジア最終予選

日本代表のW杯ロシア大会アジア最終予選の歩み

2016年9月1日 UAE (アラブ首長国連邦) 1-2
得点者 浅野拓磨 本田圭佑
アシア最終予選は3大会連続で白星スタートを飾っていたが、まさかの逆転負け。ミスが相次ぎ、FKとPKで2点を奪われた。

9月6日 タイ 0-2
得点者 浅野拓磨 3位
短いパスをつなぎ、真つ向勝負を挑んできた「格下」に快勝。ひたむきに敵陣で圧力をかけ、激突攻撃を繰り返した。

10月6日 イラク 0-2-1
得点者 山口 4位
試合終了間際に劇的な勝ち越し弾が生じた。FKのこぼれ球を、この日26歳の誕生日を迎えた山口が豪快に蹴り込んだ。

10月11日 豪州 1-1
得点者 原口 3位
先取点を奪ったが、PKで同点に追い付かれた。ハリルホジッチ監督の姿勢が守備的すぎたという批判もあった。

11月15日 サウジアラビア 0-2-1
得点者 清武 2位
本田、香川、岡崎が先発で外れる。W杯アジア最終予選で日本初となる原口の4試合連続得点が決勝点になった。

17年3月23日 UAE 0-2-0
得点者 久保 2位
久保が国際Aマッチ3試合目の出場が初得点。負傷した長谷部の代役として、2年ぶりに出場した久保が守り存在を示した。

3月28日 タイ 0-4-0
得点者 香川 1位
香川がこの最終予選で初得点。岡崎も日本代表通算50得点を記録するなど、攻撃陣が大暴れし、B組首位に立った。

6月13日 イラク 1-1
得点者 大迫 1位
中立地帯ヘラントでの対戦。香川、山口ら故障者が相次ぐ中、遠藤、井手口の若手を抜擢(はつてき)し、B組首位を守った。



■日組順位と日程

順位	チーム	勝	分	敗	得点	失点	差
1	日本	4	1	0	10	3	+7
2	タイ	2	2	0	6	3	+3
3	サウジアラビア	2	1	1	5	4	+1
4	イラク	1	2	1	4	5	-1
5	豪州	1	1	2	4	6	-2
6	UAE	0	2	2	2	6	-4

日程表 (対戦相手、日、時刻、会場、結果)

21歳井手口追加点

後半、MF井手口は、ル石調子決まり、試合を決めた。この時点で本田が先制点を取った。右足を振りかぶって、ゴールを突き刺した。このゴールは、本田のPKをアシストした。このゴールは、本田のPKをアシストした。このゴールは、本田のPKをアシストした。

ハリル監督 質疑応答

「家族の事情」
「日本代表にハリル監督が復帰するかどうかは、まだ決まらずにいます。現時点では、まだ決まらずにいます。現時点では、まだ決まらずにいます。」

長谷部復帰 際立つ安定感

右心の手術で、最終予選出場が4試合止まりだったが、長谷部は、その影響を感じさせなかった。「主将を任せて、それによって、チームの安定感が際立つようになった。長谷部の復帰は、チームにとって大きなプラスになると思う。」

海外勢16人と国内組 難しかった融合

side change 潮智史
「海外勢と国内組の融合は、なかなか進んでいない。海外勢は、海外でプレーしている選手で、国内組は、国内でプレーしている選手。両者の融合は、チームにとって大きな課題である。」



■2018年ロシアW杯の日程

年	月	日	試合
17年	12月	1日	1次リーグ抽選会 (モスクワ)
18年	6月	14日	開幕戦 (モスクワ)
	6月	16日	1次リーグは28日まで
	6月	30日	決勝トーナメント1回戦
	7月	15日	決勝 (モスクワ)

新世代 世界へ導いた



22歳浅野 苦悩払う先制弾

いままでの苦しみを不安を、すべて振り払うような快勝だった。浅野拓磨は、このゴールで、日本の先制弾を叩き込んだ。このゴールは、日本の先制弾を叩き込んだ。このゴールは、日本の先制弾を叩き込んだ。

祝! 突破! チームの力だ。応援の力だ。サッカーは総力戦だ。これからも、ともに。

KIRIN BEER 一番搾り

〈麦芽100%〉 ALC.5% 生ビール 非加熱